



HOU-TECH

SDGs REPORT 2023-2024



株式会社ハウテック
SDGs推進委員会

S D G s 推進委員会は2021年2月に発足以来

社員・家族・地域の方々の協力のもと様々な取り組みを行ってきました。

この度『HOUTECH SDGs REPORT 2023-2024』の発行にあたり

これまでの実績と今後の活動予定をまとめましたのでご覧ください。

ハウテック SDGs推進委員会



代表メッセージ	3
活動計画	4
来歴	5
活動実績①～⑨	6
サプライチェーン排出量削減目標と実績	16
環境データ	17
社会データ	18



CEO
MASAYUKI NAKAGAWA

代表取締役 中川 正之

[MESSAGE]

国連が2015年にSDGsを提唱してすでに10年が経とうとしています。当初はSDGsの意義も分からず他所の事だと思っておりましたが、内容を知るに従い当社としての取り組みの重要性を認識する事となりました。17の категорияには、ジェンダー平等や自然保護等の身近に感じるものが多くありますが、特に地球全体の環境については人類の存亡にかかわる問題として取り組む必要が有ると考えます。

台風の異常発生・ゲリラ豪雨・温暖化による多くの異常気象など、過去に経験の無い大洪水・がけ崩れ・農作物の不作・砂漠化などの被害が全世界で発生しており、その主な原因がCO2排出による地球温暖化によるものだと認識がされています。この事は特定の地域や国や市町だけの問題ではなく、人類が地球の温暖化を我が事として危機感を持って真剣に改善に取り組む必要性がある事を唱えており、特に先進国と言われる国々においてはその責任はより大きなものが有ると認識しています。

SDGsが掲げる17項目の中の一つ一つに対してどのように取り組んで行くかは、置かれた環境によって異なるものと思いますが、地球上の限り有る資源を有効に活用し、環境破壊を防ぎ、地球上での生活を永遠に営むために、今を生きている我々は環境を改善する大きな責任が有ります。

17項目の中でハウテックが出来るところはまだまだ限られており、一つ一つは小さな取り組みです。しかし、少しずつ活動を広げていく事により地域の方々に与える影響は決して小さいものではないと認識し、当社のSDGsの取り組みが社会貢献に繋がり、地域社会と共に前向きに発展していく事を願い、今後もハウテックはSDGsの活動を推進してまいります。

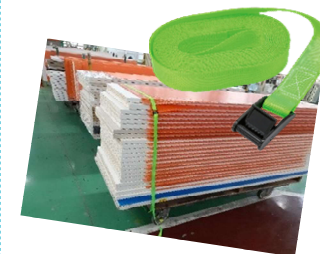
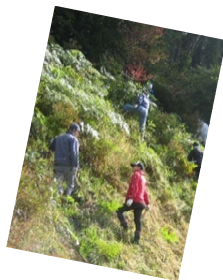
これまで実施してきた活動と委員会でテーマアップし実施中の案件、今後実施に向け検討している案件を項目別にまとめました。
『正の影響の強化』は実施することがそのままSDGsに繋がります。『負の影響の最小化』は削減や廃止する取り組みが環境負荷低減に繋がります。
実施済みの案件の継続と新たな取り組みの発案・実施を引き続き行っていきます。

■ 実施中
■ 実施検討中

	地域・社会	原材料・調達	操業	製品の仕様/運搬/廃棄
正の影響の強化	<p>5 ジェンダー平等</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性社員比率増加 女性管理職の増加 女性社員向けアンケート 	<p>15 自然保護</p> <ul style="list-style-type: none"> 記念の森に次ぐ植林事業 環境に良い備品の導入 	<p>4 教育</p> <ul style="list-style-type: none"> eラーニングの活用 廃棄パソコン再利用 働きがい向上工場研修の実施 外部研修の実施 資格取得の支援制度 	<p>12 自然保護</p> <ul style="list-style-type: none"> 自社ブランドの材料開発 梱包材縮小、材料見直し トレジャーハンター
	<p>3 健康</p> <ul style="list-style-type: none"> 同好会、部活動の推奨 卒煙サポート 	<p>15 自然保護</p> <ul style="list-style-type: none"> 会社保有の山林管理植林 環境に配慮した資材選定 地下水の利用 トレジャーハンター 	<p>8 職場環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋根の遮熱塗料 騒音低減 コンプレッサー室熱の再利用 シートシャッターでの熱効率検討 製氷機の導入 	<p>8 安心な労働環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 有給休暇取得促進 定年再雇用制度導入 女性活躍推進法対応
	<p>8 職場環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭内無報酬労働セミナー 男性育児休暇取得推奨 	<p>17 地域支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路の清掃活動 道路の草刈の主催 消防団への積極協力 	<p>8 教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 多能工化教育の実施 カイゼンリーダー養成プログラム受講 労働災害発生の周知 健康管理 	<p>9 教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 多能工化教育の実施 カイゼンリーダー養成プログラム受講 労働災害発生の周知 健康管理
<p>11 地域支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 各工場付近の特産販売 	<p>17 地域支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路の清掃活動 道路の草刈の主催 消防団への積極協力 	<p>15 自然保護</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内の緑地化 緑のカーテン 	<p>10 人と国の不平等是正</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人労働者の育成プログラムへの参加 トレジャーハンター 	
<p>13 CO2排出量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 自家用車通勤の削減 社有車の電気自動車化 	<p>1 廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ランドセルリユース 	<p>13 排出物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス化 梱包材の縮小・材料見直し 芯材の共通化 自販機のペットボトル廃止 	<p>13 廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 資材の歩留まり向上 社内不良削減 分別、リサイクル 焼却端材、梱包材の再利用 ストレッチフィルム削減 フォークリフト削減 	
<p>13 CO2排出量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 自家用車通勤の削減 社有車の電気自動車化 	<p>1 廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ランドセルリユース 	<p>13 電力削減</p> <ul style="list-style-type: none"> エアコン設定温度取り決め 蓄電池の利用 バッテリーリフト使用率増加 	<p>7 電力削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 不要時、休憩時の消灯 LED化など設備の省電力化 情報機器の省電力化 残業抑制 リフト運用効率化 廃材の燃料活用(ボイラー) 太陽光パネル(静岡工場) ヒートポンプ式自販機採用 	
<p>13 CO2排出量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 自家用車通勤の削減 社有車の電気自動車化 	<p>1 廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ランドセルリユース 		<p>12 廃棄物の発生防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 建具リサイクルの仕組みを作る 端材の再利用 単純焼却を削減 	
<p>13 CO2排出量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 自家用車通勤の削減 社有車の電気自動車化 	<p>1 廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ランドセルリユース 		<p>3 健康と福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> F☆☆☆☆の取得 	
<p>13 CO2排出量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 自家用車通勤の削減 社有車の電気自動車化 	<p>1 廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ランドセルリユース 		<p>12 CO2排出量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 納入便の積載効率向上 	

正の影響の強化

負の影響の最小化



2023年 ●●●

2024年 ●●●

1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
------	------	------	--------	------	------	------	--------

推進委員会 / グループ長会

毎月開催

① ゴールドパートナー登録



申請準備 申請 取得



② ランドセルリユース活動

検討開始 ランドセル募集開始 出荷 新聞掲載

③ トレジャーハンター



検討開始 第一回開催 第二回開催 第三回開催



④ 地方創生ワークショップ

開催 開催

その他活動

- ⑤ フォークリフト削減/梱包材再利用
- ⑥ ハウテックファクトリーツアー
- ⑦ 非常食試食会
- ⑧ SDGs AICHI EXPO 2024
- ⑨ ECO FIRST PARK



GOLD PARTNER

清流の国ぎふ ゴールドパートナー登録

ゴールドパートナーとは



『環境』『社会』『経済』の三側面において、SDGsの達成に向けた重点的な取り組みを行っていることに加え、組織としての一定以上の管理体制をもって三側面のさらに多岐にわたる分野でバランスよく取り組んでいる事業者。

ぎふSDGs推進パートナー登録制度の目的

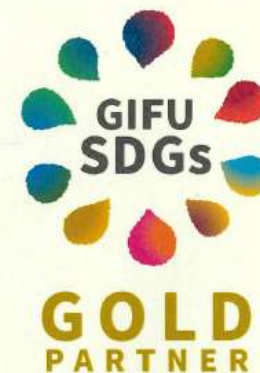
この制度は、SDGsの達成に向けた取り組みを行っている事業者とその取り組み内容を広く情報発信することで『見える化』するとともに、県、金融機関等から様々な支援を行うことで、事業者の更なる取り組みを促進することを目的としている。

登録のメリット

- ・ 県のホームページ等で登録事業者としての取り組み内容を公表、PR
- ・ ゴールドパートナーの『ぎふSDGs推進パートナー登録証』を授与
- ・ ゴールドパートナーの『ぎふSDGs推進パートナーオリジナルロゴマーク』を活用して登録事業者であることを自己PR可能
- ・ 岐阜県中小企業総合人災センターの求人票にパートナーである旨を表示
- ・ 金融機関等による融資等の支援

※支援策については随時拡充予定

ぎふSDGs推進パートナー 登録証



株式会社 ハウテック 様

有効期限 令和9年2月28日

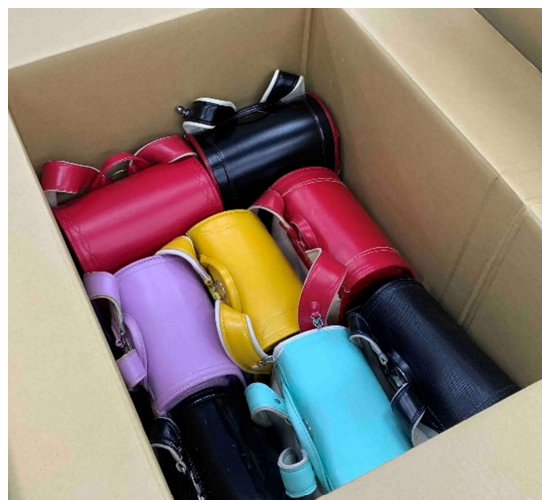
SDGsの達成に向けて、岐阜県とともに取り組む
「ぎふSDGs推進ゴールドパートナー」として登録します。

令和6年2月19日

岐阜県知事 古田 肇



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Reuse of school bags

ランドセルリユース活動



2023年1月～2024年2月

ランドセルリユースとして2023年1月から2024年4月に及ぶ1年超の活動を経てフィリピンのセブ島に住む子供たちにランドセルと文房具を届けました。

各家庭に眠っている使われなくなったランドセルを必要としている人々に届けるため、地元高校やNPO法人と協力し、合計で52個、その他文房具類を発展途上国の子供たちに届ける活動を行いました。

捨てられる予定だったものの有効活用、貧困層への支援を同時に行えたこと、また、地域社会との交流が出来たことで大変有意義な活動になったと思います。

不要になった物を処分するだけでなく、有効活用する手段がないか考えることで新たなSDGs活動につながると実感しました。



金の宝箱(上級)

ミッション実行レポート

所属	名前
----	----

選んだミッションを書いてね。
 (例)ミッションNo.1 課題をなくそう
 こども食堂とは何か、また子ども食堂に取り組んでいる飲食店等を1つ紹介しよう

ミッションNo. **7 再生可能エネルギーとは何か調べよう**

レポート内容
 (ミッションを履修してきて思ったことや感じたこと、学習した内容や感想、体感などを書き加えてね。)

再生可能エネルギーとは?
 石油や石炭、天然ガスといふ、
 有限の資源である化石エネルギー
 とは違い、太陽光や風力、
 地熱といふ、地球資源の一部ほど
 自然界に常に存在するエネルギー
 のこと。

再生エネルギーの種類		
太陽光発電 太陽電池に当たる太陽の光を電気エネルギーに変換	風力発電 風力で風車を回し、回転エネルギーを電気エネルギーに変換	バイオマス発電 動植物から生まれた資源を燃やしたエネルギーでタービンを回して発電
水力発電 高い場所から水を流して水車を回し、回転エネルギーを電気エネルギーに変換	地熱発電 地下深くにある地熱の発生や熱水の持つエネルギーでタービンを回して発電	太陽熱発電 集めた太陽光から生まれる熱エネルギーでタービンを回して発電
その他の再生可能エネルギー 波力発電、潮流発電、洋上風力発電、地中貯蔵型蓄電池、水素エネルギー、中核炉、原子力発電、再生可能エネルギーを蓄積する蓄電池		

😊 メリット

- 温室効果ガスが排出しない
- エネルギー源が枯渇しない
- エネルギー自給率を向上させる

😞 デメリット

- 発電量が変動する
- 発電コストが高い

私たちにできること

- ① 電力会社の切り替え... 電気料金を再生可能エネルギー比率の高いものに切り替えることで、CO2削減と再生可能エネルギーの普及に貢献できます。
- ② 節電... 電気の無駄遣いを減らす。

今後のSDGs活動への意気込み: 近年、身の回りのさまざまなものが「値上がり」しています。個人でできる対策として、節電・節水・フードロス削減など、節節にもつなげ、SDGsへ取組むこともできるので、今年も頑張ります。



Treasure hunter

トレジャーハンター



2023年12月～

SDGsに対する関心や認識を深めてもらう為に、社員や家族で参加のできる企画『トレジャーハンター』を合計3回開催しました。

SDGsという単語は聞いたことがあっても、具体的にどんな行動がSDGsに繋がるのか、何をすれば良いのかわからないという方もまだまだいます。

そんな方々に向けて学習・体験の両方を含む課題(ミッション)を提案。数々の学習型、体験型のミッションの中から挑戦したいミッションに挑み、簡単なレポートを作成して宝箱(賞品)に応募することができる企画です。

賞品もSDGsの趣旨に沿って生産・販売されているものを選定し、1回目40件・2回目72件・3回目70件・合計182件の参加があり、社員・家族がSDGsに取り組むきっかけ作りになる企画となりました。

第3回SDGs de 地方創生 カードゲーム体験会

SDGs で地方創生カードゲーム体験会の第3回目の開催が決定致しました！カードゲームで楽しくSDGsについて学びませんか？参加希望の方は下記問い合わせ先までご連絡ください！

開催日：11/9(土) 9:00~12:00 ※10分前にはお集まりください

会場：事務所棟 3階大会議室

持ち物：筆記用具

服装：制服(上着のみ可)

募集締め切り：10/31まで

ワークショップの目的

SDGs de 地方創生とは、SDGsの考え方を地方創生に取り入れることで、持続可能な地域づくりや企業づくりを目指そうという取り組みです。カードゲームを通じて、参加者たちがSDGsについての気づきや学びを得られることを目的としています。

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4
ワークショップでは皆さんの地域が今後12年間でどう変化していくのかをシミュレーションするゲームを行います。	町の状況は「人口」「雇用」「環境」「暮らし」の4つの指標で表されます。	参加者同士協力して様々なプロジェクトを実行し、目指す数値の達成を競い合います。	ゲーム終了後は参加者でフィードバック、意見を交換し、今後の活動について共有しましょう。

公認ファシリテーター

東京SDGs地方創生公認ファシリテーター
鈴木 亘
〒100-0001 東京都千代田区千代田 本所 総務課 総務課長 鈴木 亘

カードゲームを開発した
NPO 21A Issue Design と
株式会社 Project Design が
共同でワークショップを
行えることを目指しています。

※当日は出勤扱いです。残業もしくは時間調整での振替対応となります。どちらの対応になるかは各部署長とご相談ください。

■お問い合わせ先■
総務G 小林(内線:234)
品質保証G 横田(内線:241)



Work shop

地方創生ワークショップ



2023年12月～

SDGsに対する関心や認識を深めてもらう為に、SDGsファシリテーターの講師を招いてワークショップを毎年開催しています。カードゲームを通じてSDGsの考えが持続可能な地域づくりや企業づくりにどのように関わってくるのかを楽しくわかりやすく学べるワークショップとなっています。

これまでSDGsのことを知らなかった社員も関心があった社員も参加することで自分が具体的にどのような形でSDGsに取り組んでいくのか、会社としてどういった取り組みができるのか、より一層考えさせられる機会となりました。

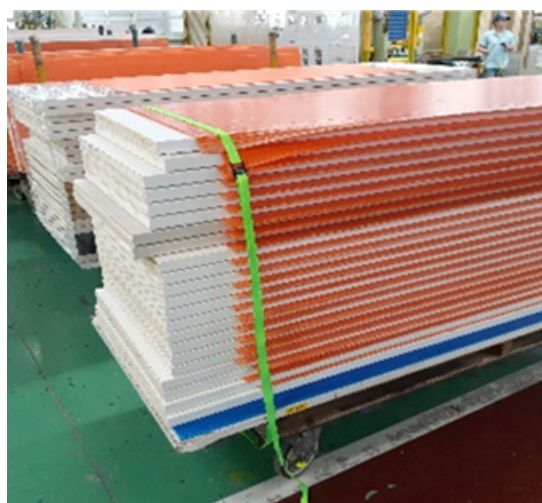


対象車名	年式	LPG使用量	CO2排出量
L-15	H20.01	1,405kg / 年	4t-Co2 / 年

作業内容の見直しやレイアウトの変更を行い、上記のフォークリフト1台を削減することができました。それにより、年間1.4tのLPG排出を、4tのCO2排出を削減しました。今後も各工程で見直しを行い、更なる削減ができるよう取り組んでいきます。



従来、表面材の入荷後に焼却していた栈木を返送、再利用することでCO2削減に繋がりました。



Reuse & Reduction

フォークリフト削減
焼却端材 / 梱包材の再利用
ストレッチフィルム削減



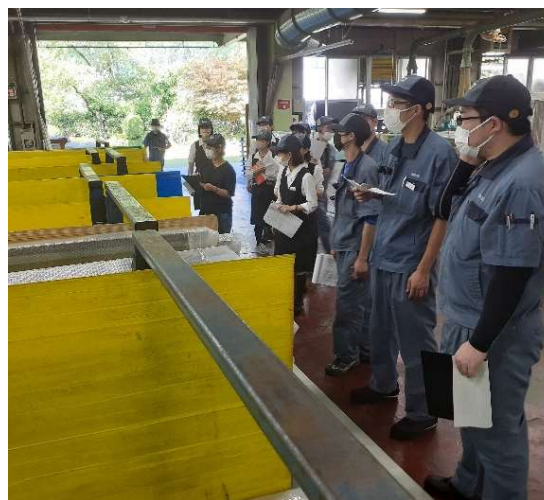
2023年11月～

梱包時や端材として出たエアーマット、小袋をただ捨てるのではなく、社員の方に持ち帰ってもらい再利用してもらう活動を行いました。

また工程間の移動に使用しているストレッチフィルムの廃棄削減を目標に調査を実施したところ、産廃費用・購入費用合わせて何百万円もの費用が掛かっていることが分かり、ストレッチフィルムの代わりにバンド結束の検証を行いました。

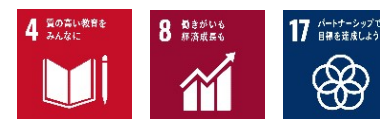
バンド結束を行える工程ではストレッチフィルムでの固定をやめバンド結束に変更をし、ごみの削減、作業効率、体の負荷軽減につながりました。

ストレッチフィルム廃棄量は240kg/年削減、CO2排出量190.2kg/年削減する事が出来ました。



Factory tour

ハウテックファクトリーツアー



2022年3月～2023年12月

『自分の仕事場しかハウテックのことを知らない』『他の部署がどんな仕事をしているのかももっと知りたい』といった社員の声をもとに自社への理解を深めてもらい、新たな改善の気づきを得ることを目的にファクトリーツアーを実施しました。

2022年3月24日、5月27日、7月20日と過去3回開催しており、2023年12月22日に第4回目を開催しました。

普段見ることのない社長室や、テクニカルラボ等を見学でき、ハウテックはどんな部署があってどんな仕事をしているか知る良い機会になったと参加者の皆さんから感想をいただきました。

また、参加者が自分の所属する部署の紹介を行うことで、自部署のプレゼンを兼ねることができたため自己研鑽にも繋がり、大変良いツアーになりました。

防災用品 総合カタログ

SURVIVAL GOODS GENERAL CATALOG

災害への備えに必要なものを見つけられる!

VOL.16 2024年6月版



Emergency food

非常食試食会



2024年7月

近年、南海トラフ地震や台風、梅雨などの水害、土砂災害の被害が増加しています。

災害は突然やってくるので、普段から防災食を準備しておくことが大切になってきます。

そこでハウテックSDGs委員会としても防災に関する取り組みをしようということで、ミドリ安全様に協力していただき、味や食感を皆さんに伝えるため非常食の試食を行いました。

一昔前の非常食と比べると味のレベルが高くなっており、被災時の限られた環境でおいしく食事をとればストレスの緩和にもつながると思いました。

防災用品はハウテックHPからミドリ安全様の購入ページにアクセスして購入できるようになりました。

今後も防災に対する社内新聞で情報発信を行い、防災への意識を高めていきます。



SDGs AICHI EXPO 2024

SDGs推進フェア



2024年10月

愛知県常滑市の愛知国際展示場で10月10日～10月12日の3日間にわたり開催された「SDGs AICHI EXPO 2024」に参加しました。

各企業や団体がどのような活動を行っているかを見出し、活動内容について実際にお話を聞くことができたり、クイズに答えたりすることでSDGsについて理解を深めることができました。

SDGs達成に向けた取り組みが後半戦を迎える中、これまでの取り組みをさらに進化させるために、その他のイベントにも積極的に参加していき、ハウテックとしてできることをみつけていきたいです。



Eco FIRST PARK

エコファーストパーク視察



2024年11月

他社での環境保全への取り組みを調査すべく積水ハウスのECO FIRST PARKを見学させて頂きました。

ECO FIRST PARK内でも今回は「資源の泉(資源循環センター)」を中心に見学させて頂きました。

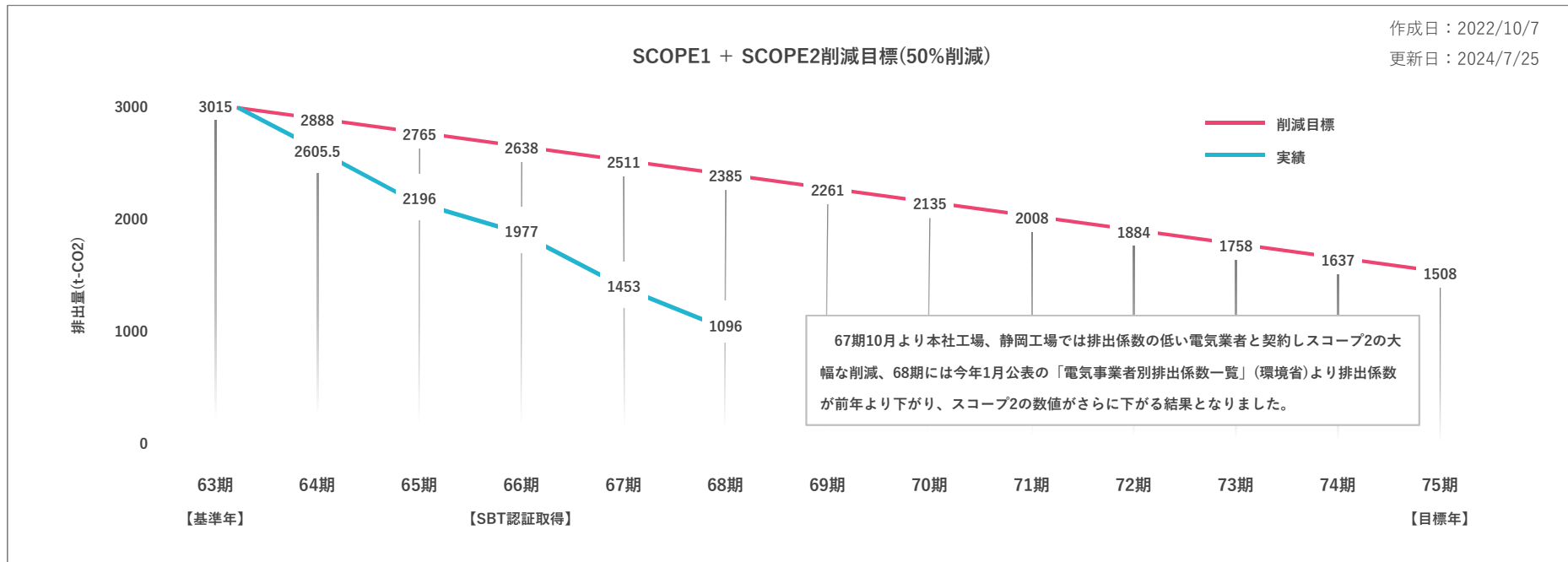
「資源の泉」では新築施工現場で発生した廃棄物を100%リサイクルしていると伺いました。

100%リサイクルを達成した背景には新築施工現場で27種類に分別、資源循環センターでさらに80品目に分別といった徹底した分別体制がありました。

ハウテックにおけるリサイクル率は98.6%ですがそのほとんどが業者委託によるものです。また、再利用方法のほとんどが熱源利用(焼却処分)です。自社内での分別を細分化することで素材としての再利用を進められるような活動も推進していきたいと思っております。

●●● ハウテック CO2排出量削減目標と実績

削減目標	63期	64期	65期	66期	67期	68期	69期	70期	71期	72期	73期	74期	75期
スコープ1+スコープ2	3,015	2,888	2,765	2,638	2,511	2,385	2,261	2,135	2,008	1,884	1,758	1,637	1,508



項目	単位	63期実績	67期実績	68期実績	削減率	結果
CO2排出量	スコープ1 主に使用した燃料に伴CO2排出量	t-CO2	157	170	-	○
	スコープ2 導入した電力と熱に伴うCO2排出量	t-CO2	2,858	1,283	928	-
合計	t-CO2	3,015	1,453	1,096	64%	○

[算出基準]

- ・環境省公表のサプライチェーン算出マニュアルを基に算出。
- ・スコープ1は主に使用した燃料からのCO2排出量。
- ・ハウテックで該当するのは'ガソリン'軽油'A重油'灯油'LPG'のみ。[地球温暖化対策の推進に関する法律]に基づく単位発熱量とCO2排出係数を使用
- ・ガソリン、軽油、A重油、灯油は各工場の使用量[kℓ]×CO2排出係数[t-CO2/kℓ]、LPGは各工場の使用量[t]×CO2排出係数[t×CO2/t]
- ・スコープ2は導入した電力と熱に伴うCO2排出量。全事業所の使用電力[MWh]×その年の環境省・経済産業省公表の電気自動車別排出係数[t/MWh]

●●● 68期事業活動における環境負荷

項目	単位	68期実績	備考
二酸化炭素	t-CO2	1,096	スコープ1+スコープ2
燃え殻	t	23	埋立て処理
廃プラ	t	116	5%埋立て処理・95%熱源利用
RPF	t	44	熱源利用
木くず	t	634	熱源利用
紙・ダンボール	t	59	有価売却・再利用
鉄くず	t	26	有価売却・再利用
粉碎チップ	t	619	有価売却・熱源利用
ボイラー投入木材	t	620	自社で熱源利用
廃液	t	4	埋立て処理・熱源利用
その他	t	0	埋立て処理・熱源利用
廃棄物 合計	t	2,145	本社・関東・静岡

●●● その他環境データ

項目	単位	68期実績
電力	MWh	4,400
ガソリン	kl	8
経由	kl	11
A重油	kl	4
灯油	kl	10
LPG	t	34
コピー用紙	kg	14,505

●●● リサイクル率

項目	単位	備考
非リサイクル廃棄物	t	31
リサイクル廃棄物	t	2,114
産業廃棄物リサイクル率	:	98.6%

●●● 太陽光発電（静岡工場）

項目	単位	備考
太陽光発電 発電量	kWh	131,659
電気使用量(静岡工場)	kWh	266,097
使用量に対する太陽光発電量割合	:	49%

環境に対する取り組み

当社は、製品を作り、お客様にお届けする過程において、資源やエネルギーの消費、産業廃棄物の発生、さらにはCO2排出など様々な形で環境に負荷をかけています。このため、私たちは環境保護に対する明確な方針と目標を設定し、実績の定期的な取りまとめを行っています。これにより、事業活動が環境に与える影響を具体的に把握し、持続可能な地球環境の実現に向けた取り組みを強化しています。環境負荷の軽減を図り、持続可能な地球環境のために省エネ活動および廃棄物の分別や削減などの環境保全活動を推進していきます。

従業員数	2018年	2020年	2022年	2024年
男性	401名(81.5%)	380名(78.5%)	373名(79%)	387名(77.6%)
女性	91名(18.5%)	104名(21.5%)	99名(21%)	112名(22.4%)

平均年齢	2018年	2020年	2022年	2024年
男性	43.0歳	43.1歳	44.3歳	45.2歳
女性	41.6歳	39.2歳	40.3歳	42.1歳

障がい者雇用状況	2018年	2020年	2022年	2024年
雇用者数	10名	10名	12名	12名

育児休業制度利用状況	2018年	2020年	2022年	2024年
利用者数	5名	2名	6名	9名

社会貢献	2018年	2020年	2022年	2024年
寄付金額	138,872円	300,000円	200,000円	404,050円
献血活動	47名	29名	40名	38名
職場体験	9名	4名	6名	3名
植林事業	2回	2回	1回	1回

- 能登半島地震 義援金 令和6年(2024年)1月 71,372円
- 能登半島豪雨 義援金 令和6年(2024年)9月-10月 99,418円
- トルコ・シリア地震救援金 令和6年(2024年)3月 233,260円

ハウテックでは、「8.働きがい」というテーマについて、有給休暇や育児休暇の取得を積極的に推奨し、家庭と仕事の両立を支援する体制の強化に取り組んでいます。
 育児休暇に関しては、社員の要望に応じて、管理職を含めた説明会を実施し、男性・女性問わず休暇を取得しやすい環境づくりを進めています。
 今後も社員一人ひとりの声を大切にし、より働きやすく、充実した職場環境の実現を目指します。



「住まい」へのこだわり、「環境」へのこだわり、「人」へのこだわり



<https://hou-tech.jp/>

弊社WEBサイト内でもSDGs活動に関する発信を行っています。
